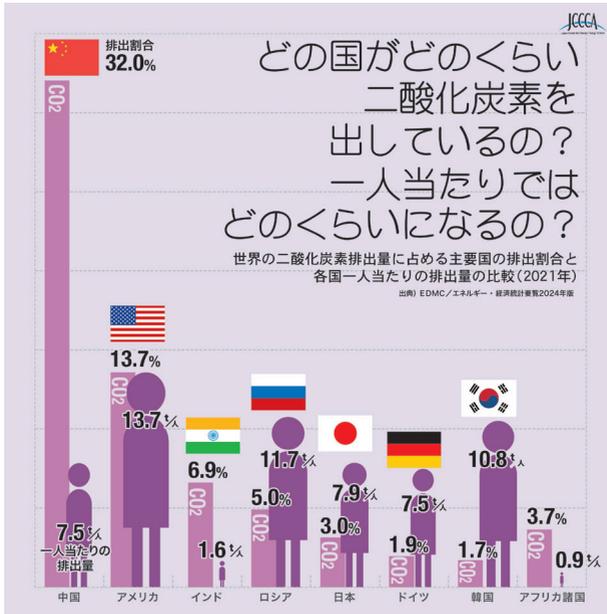


4. わたしたちを取り巻く状況

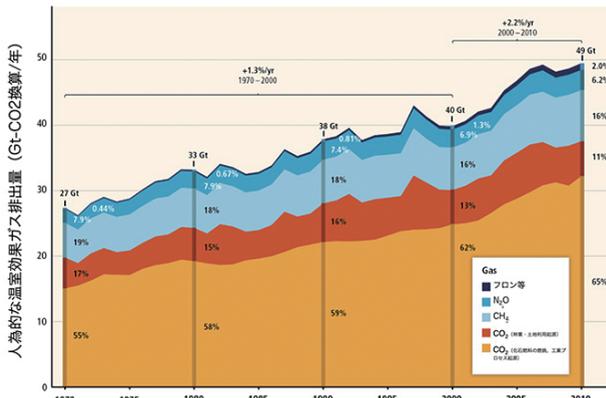
4.1. 世界と日本の状況



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

<世界の動き>

- ▶ 世界全体のCO₂排出量は右肩上がり増加しており、地球温暖化の進行スピードを緩和するため、すべての国で脱炭素社会の実現に向けた取組を進める必要があります。
- ▶ 日本やアメリカ、EUなどの先進国の多くは2050年、世界最大のCO₂排出国である中国は2060年、経済成長を続けるインドは2070年までのカーボンニュートラルを宣言しています。
- ▶ しかし、紛争や社会情勢の変化による世界的な気候変動対策への影響が懸念されています。



出典) 世界の温室効果ガス排出量-統計資料から調べる | かながわ気候変動WEB] より

<日本の動き>

- パリ協定の採択（COP21）を受けて中期削減目標（2030年温室効果ガス排出量26%削減）を策定しています。
- 2018年に第5次環境基本計画を閣議決定し、SDGsの考え方も活用しながら「環境保全と経済成長の両立」を目指すこととしています。
- 2020年に2050年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、産業政策・エネルギー政策や国民運動を展開しています。

4.2. 環境と経済を両立した脱炭素につながる将来の豊かな暮らしに向けて



出典) 環境省公式サイト (<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>) より

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅 >
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ >
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ >
- ツ** つながるオフィス テレワーク >



- 国では「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（愛称：デコ活）を展開しています。
- 運動の目的は、2050年カーボンニュートラル・2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイルの変革を促すことです。
- 国民が、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの全体像を「知って」「触れて」「体験・体感できる」様々な機会を官民が連携して提供しています。